

9月定例会号

目次

- ・特集 貴志川線から見た
公共交通とまちづくり P2
- ・9月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・議員連盟活動レポートなど P12

わかやま 市議会 だより

No.091 平成30年(2018年)11月1日発行



オーライ!

発車ALL RIGHT!



貴志川線から見た 公共交通とまちづくり



Designed by Eiji Mitooka+Don Design Associates

廃線の危機を乗り越え、事業を継承した和歌山電鐵貴志川線。その貴志川線でイベントを実施し、盛り上げてくれた学生がいます。地域の公共交通と向き合う若者たちの考えを知りたいとの思いから、今回はイベント主催者の二人である和歌山大学の学生、また、貴志川線を利用している和歌山信愛女子短期大学の学生にお話を伺いました。

妖怪電車でにぎわいを！

和歌山電鐵は、貴志川線の利用を促進するため、様々なイベントを企画し、地域の住民も一緒に取り組んでいます。

今回、僕たち和歌山大学の学生が提案した「妖怪電車」のイベントが和歌山電鐵に受け入れられ、実現することができました。イベントの参加者を募集したところ、予定人数よりも多くの応募があり、そのうち8割は子供たちで、当日、すごく喜んでくれた姿を目の当たりにしたら、やつてよかったなと思いました。微力ながらも貴志川線を盛り上げることができたし、少しでも利用促進につながったのかなと思います。また機会があれば、何か新たなイベントを提案したいと思います。



[写真上] 貴志川線祭りの様子。今年は11月4日(日)に開催されます。
[写真右下] 妖怪電車の様子。車内は子供たちでいっぱいです。
[写真左下] 勤務中の「スーパー駅長ニタマ」〜がんばるニャ〜



先輩から引き継がれた思い

和歌山信愛女子短期大学の学生は、その約半数が貴志川線を利用して通学しています。貴志川線の魅力は、駅員さんと学生が家族のように「おはよう」と挨拶を交わし、いつも乗っている学生がいなくときは心配してくれたり、アットホームなところだと思います。

私たちの先輩は、貴志川線を応援するために、授業で作ったイチゴ柄の座布団や電車のヘッドマークに飾るク

リスマスリースを手作りし寄贈しています。このように貴志川線を応援する思いは、学生たちの間で引き継がれ、今は貴志川線祭りに参加するなど、お手伝いを続けています。これからも貴志川線を地域の大切な公共交通として維持するために、私たち学生にできることは協力していきたいと思っています。

学生たちのメッセージ

今後、市内に3つの大学ができません。学生にとって公共交通は、通学に欠かせない移動手段です。その公共交通を維持し、発展させていくには、学生だけではなく、住民や観光客が集まるような仕掛けを作り、まさににぎわいを取り戻すことが必要だと思います。

和歌山市の公共交通は、鉄道が中心となって、路線バスや地域バスなどが運行されています。利用してもらうためには、「あそこへ行きたい」「行かなければならない」といった、何か魅力のある目的が必要です。

公共交通とまちづくりは深い関係があると思うので、これからも私たちにできることを模索していきたいと思っています。

編集後記



利用者の減少により廃線の危機に陥った貴志川線ですが、存続を願う多くの住民が立ち上がり、和歌山電鐵とともに活動が続いていることで、今の姿があります。今回の取材を終え、市内の大学生もその一端を担っていることが分かり、とても心強く感じました。また、まちづくりにまで目を向けた公共交通のあり方、広い視野を持ったその考えに驚かされました。彼らのメッセージを受け、議員として、更にまちづくりと一体となった交通政策に取り組まなければならないと感じました。

特集担当:井上直樹、南畑幸代

9月定例会の概要

開会

9月12日

- ・会期の決定(9月12日～10月4日)
- ・市長所信表明
- ・議案説明(報告関係6件、議案17件(補正予算案4件、条例案3件、その他10件))
- ・議員発議(条例案1件)、採決

一般質問等

9月14日

- ・林 隆一議員、姫田高宏議員、山野麻衣子議員

9月18日

- ・松本哲郎議員、浜田真輔議員、中村朝人議員

9月19日

- ・中塚 隆議員、森下佐知子議員、南畑幸代議員

9月20日

- ・追加議案の説明(補正予算案3件)
- ・中尾友紀議員、松坂美知子議員、野嶋広子議員

9月21日

- ・戸田正人議員、北野 均議員
(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

9月25日～28日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

10月1日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決
(P10～P11に概要掲載)

特別委員会

10月2日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

10月4日

- ・各常任委員会の委員長報告(議案20件の審査結果について報告)
- ・議案に対する反対討論(森下議員)、採決
- ・議案説明(決算関係20件)
- ・公営企業決算特別委員会の設置、委員の選任
- ・決算特別委員会の設置、委員の選任
※決算関係の議案は、閉会中の継続審査
- ・追加議案の説明(人事案件9件)、採決

平成30年度予算(9月補正後)

一般会計	1,557億6,868万5千円 (補正額42億7,781万4千円)
特別会計及び公営企業会計	1,425億8,422万3千円 (補正額13億1,204万6千円)
合計	2,983億5,290万8千円
補正予算の概要	
<p>一般会計では、障害者の就労継続支援事業所の整備、ため池の改修計画、民有のブロック塀撤去促進に要する経費、また、平成30年7月豪雨や台風20号、21号等により被災した施設の復旧等に係る諸経費などの予算が計上されました。</p> <p>特別会計では、卸売市場事業特別会計で、中央卸売市場の再整備に要する経費などの予算が計上されました。</p> <p>これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。</p>	

和歌山市議会緊急時業務継続計画(BCP)を制定しました

和歌山市議会では、平成25年3月に議員発議による「和歌山市みんなでとりくむ災害対策基本条例」を制定し、市民、地域、行政、議会それぞれによる災害時の責務をうたい、自助、共助、公助のなすべき役割を明らかにし、より災害に強いまちづくりを目指してきたところです。

そして、それを更に具現化すべく、和歌山市議会緊急

時業務継続計画(BCP)を、二元代表制の趣旨にのっとり、住民代表機関として市民の安全確保、被害の拡大防止、災害復旧、議会機能の回復を図るため体制を整備し、議員の行動基準を定めることで、大規模災害等の発災時に議会及び議員がより迅速かつ適切な行動を起こすことができるよう制定したものです。

ピックアップ **一般質問** PickUp!



QRコードから録画中継がご覧いただけます。

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。

至政クラブ



はまだ しんすけ 浜田 真輔

介護老人福祉施設等の
老朽化対策

問 介護老人福祉施設等は、時間経過とともに老朽化が著しく、耐震性などの安全性に疑問符がつくものもある。高齢者福祉にとって大変重要な施設であり、入所者の安全を確保し、施設を

守り維持していくため、具体的にどう考え、どう取り組むのか。



答 少子高齢化が進む中、2025年には、人口の高齢化が更に進むと見込まれる。本市においてもひとり暮らしの高齢者が年々増え、介護老人福祉施設等の役割がますます重要になっている。本市には、新耐震基準を満たしていない施設や老朽化した施設等が複数存在し、入所者の安全を確保するためには、耐震化等を促していく必要がある。

しかし、国の耐震化の補助制度はあるものの、老朽化施設の建て替えに係る補助制度はなく、本市単独で補助を行うことは、財政事情を考慮すれば非常に困難

であるため、今後も引き続き、建て替えに係る補助制度の創設を国に対して要望していく。

農業用水路設備

問 農業者が減少傾向にあるとはいえ、農業用水路を維持、管理する必要がある中、宅地化などによる一般生活排水の流入や豪雨による雨水問題をどう考えるか。

また、農業用水路に対し、農業政策予算が使われてきたが、まちづくり、都市機能の維持、管理などの視点から、都市政策や社会資本整備政策の予算を前向きに使うべきだと思いがどうか。



農業用水路

答 稲作等の農業、良好な景観の形成などの農業の多面的機能を維持するには、

農業用水の確保と農業用水路を維持、管理する必要がある。また、生活排水の流入や豪雨により短期間に水量が増加する現状を踏まえ、農業用水路の管理の重要性が増している。

今後も、生活排水等への対応も含め、農業用水路を管理する必要があるが、減少する農業者による負担をこれまでどおりの農業政策予算で管理できるか検証する必要がある。その結果として、管理が困難であると判断した場合には、都市政策など関係分野の観点も踏まえて、何らかの手だてを講じられないか検討する必要がある。

地籍調査



のしま ひろこ 野嶋 広子

問 全国と比べても大変遅れている現在の地籍調査の進捗率では津波等が起こった場合、復旧・復興に大きな影響を残すと危惧しており、地籍整備を早急に完了

させるよう積極的に推進していくことが重要だと考えるが、市長の見解はどうか。

答 地籍調査は、本市の活性化や防災等の基盤となる極めて重要な事業であり、平成28年度より予算と人員体制を拡充するなど、積極的に進めてきたところである。

その結果、以前は実施地区が年間7地区程度であったところ、平成28年度以降は11地区とし、全力で取り組んでいる。引き続き事業を着実に進めるため、予算のみならず人員体制を確保していく。

健康・福祉行政



問 厚生労働省が地域づくりとして提唱している「我

が事・丸ごと」の地域づくりについて、市の考えはどうか。

答 本市においては「我が事・丸ごと」の地域共生社会を実現するために、他人事を「我が事」として捉えていく働きかけや、地域の様々な課題を「丸ごと」受け止める場所の設置など、住民が主体的に地域の課題を把握し解決していく体制を整えることが必要である。

また、行政においては、相談支援窓口を総合的にコーディネートする支援体制の確立が重要であるとの考えのもと、第4次和歌山市地域福祉計画に盛り込むことを要請されていることから、本市においても検討を進めていきたい。



防災行政

問 企業局では、地震や津波の災害を想定したBCP（事業継続計画）を策定しているが、今回の台風の影響状況を受け、長時間の大規模停電などに対応するための計画をBCPに加える必要があると考えるがどうか。

答 水道及び下水道においては、それぞれ個別にBCPを策定しているが、平成30年4月1日の組織改正に伴い、現在、見直しを行っているところであり、その際、地震などの災害に加えて、大規模な停電などにも対応できるように、見直しを行っていきたいと考えている。

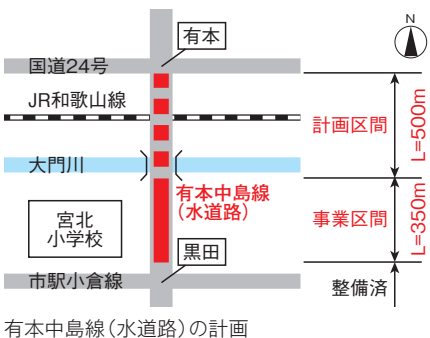


四箇郷地区のまちづくり

問 ①四箇郷まちづくり協議会で、地域住民の交流スペースが必要という意見が多かったが、四箇郷保育所

跡地について、地域の新たな交流の場として整備し、民間団体や事業者、住民の方々が主体的に使えるような仕組みづくりを検討できないか。

答 ①四箇郷保育所の跡地利用については、地域が主体的に使えるような仕組みづくりを検討する。②有本中島線は、JRとの交差方法の協議の速やかな成立に努め、事業中の南側区間に続いて北側区間についても積極的に取り組む。



市駅前のにぎわい創出

問 ①南海和歌山市駅ビル内に移転する新市民図書館と市駅前にぎわいをどうリンクさせるのか。来館する多くの方々に、どのようにまちなかに繰り出しているか。②市立博物館については、市民ニーズを把握するとともに博物館基本計画を早急に策定し、観光や地域活性化促進につなげていくべきと考えるがどうか。

答 ①新市民図書館は、観光やまち歩きの情報発信機能を備えることで、観光のスタート地点となる。様々な機能を併せ持つ新市民図書館は、「本と人」「人と人」「人とまち」をつなぎ、図書館がまちを創ると言っても過言ではない。市駅前広場を交流空間として整備することで、市駅は京都の玄関口としてふさわしいにぎわいのある拠点として生まれ変わる。②博物館については、基本計画を早急に策定するとともに、立地を生かす、市駅や新市民図書館と連動させ、にぎわい創出

の拠点の一つとして、多くの市民に訪れてもらえるように取り組む。



市駅前完成イメージ図

教育施設の安全対策

問 学校施設内における新耐震基準以前のブロック造建築物についても、速やかな安全対策が必要と考えるがどうか。

答 新耐震基準以前のブロック造建築物に対しても、速やかに予算面も含め計画を立て、取り組んでいく。



ブロック造建築物

公明党議員団



まつもと てつろう
松本 哲郎

災害対策

問 台風21号による課題と停電時における関西電力との連携をどう考えるか。

答 広域停電への対応など様々な課題が浮き彫りとなった。今後、地域防災計画を見直すに当たり、関西電力など関係機関をメンバーとした、停電事故対策本部の設置を検討する。



停電の原因となった電柱の倒壊

所有者不明の土地対策

問 市の公共事業における

所有者不明土地の現状は。

来年6月までに全面施行される、所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法に關し、県との連携を早急にすべきでは。

答 過去5年で、土地収用法の制度を活用した事例が2件ある。現在、3件の所有者不明土地があり、同法を活用し効率的な事業進捗を図るため県と協議する。



なかつか たかし
中塚 隆

障害者支援

問 障害者雇用の推進に取り組み、「日本一、障害者にやさしいまち」にしたい。ききたいと思うがどうか。

答 障害者の希望や能力を生かした就労支援を行うための施策を行い、障害があっても希望する人は全て就労し、自立して生きていける社会を築いていく。

市民情報共有システム

問 SNSやアプリを活用した、道路の陥没などを通報

するシステムは、職員の負担が軽減され、より迅速な対応で市民の安全・安心に配慮することができると考えるが、本市もこのシステムを導入してはどうか。



陥没している道路

答 アプリケーションを活用した事例を参考に導入を検討するが、まず、本市のホームページやメール等を活用したシステムを導入する。



なかお ともき
中尾 友紀

障害福祉

問 障害の理解を深めるためには、家族会や父母の会、施設運営者等に委託し、自治会などで実際の体験を話

していただく体制をつくるべきと考えるがどうか。

答 障害の理解や差別の解消につながる体制づくりについては、積極的な啓発活動の一環として取り組んでいく。

民間建築物の耐震化

問 南海トラフ地震に備え、建物の倒壊ゼロに近づける取組として、検査済証のない方に無料耐震診断が受けられる措置はないか。

答 住宅耐震化は、市民の命を守る対策として重点的に取り組むべき施策と考える。検査済証がない平成12年以前の新耐震基準による建物については、今後、図面の活用等により、無料の耐震診断を行っていく。



日本維新の会



はやし りゅういち
林 隆一

台風21号への市の対応

問 停電情報が伝わらず、市民の不安につながった。今後は、関西電力との連携が必要と考えるがどうか。

答 今回の大規模長期停電を受け、今後は関西電力と広域停電の対応や連携を更に強めていく。



やまの まいこ
山野 麻衣子

スポーツによる観光施策

問 心から人を呼びたい、来てもらいたいという気持ちを持たずに観光振興ができると考えているのか。

答 スポーツイベントと連携した宿泊プランやツアーなどの観光施策を積極的に行うことで、より観光振興につなげていきたい。



きたの ひとし
北野 均

コンセッション方式

問 自治体を持つ全ての公
共施設について、「運営権」
と称し、民間事業者に貸し
付け、譲渡を可能とするコ
ンセッションという事業方式
を採用するための前段階の
調査が本市一部施設で報告
されたが、本市の対象施設
へのコンセッションの導入を
検討しているのか。

答 国の動向を踏まえつつ、
対象施設について、民間事
業者の創意工夫が生かされ
有益なものとなり得ると考
える場合には、民間活力の
導入を検討する。

現在、上水道、下水道、
工業用水道について、企業
局でコンセッション方式や
包括的業務委託などを含め
た民間活力導入の可能性に
関する基本調査を実施して
いる。

問 コンセッションのような

行政課題や本市を含む地方
自治体に影響がある「圏域」
の議論を、和歌山県市長会
の議題として、本市から発
信すべきではないか。

答 コンセッション方式の導
入に関しては、今後も十分
な調査、研究を重ねていく
ことが必要と考えており、
県下市長会での議論は有意
義と考えるが、まずは和歌
山県下で検討を行っている
市と意見交換をした上で議
題に上げるかどうか検討し
ていく。

また、総務省で始まった
「圏域」議論は唐突で、地
方創生の取組に水を差すも
のであり、自治体の意見を
聞きながら進めるべきだと
考える。当然、県下市長会
での議論は必要である。



加納浄水場



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

ワンストップ窓口。まずは、
り災証明と減免申請から

問 ワンストップ窓口の手始
めとして、り災証明書発行
と最大7課にわたる各種減
免申請を1回で済む仕組み
を作ってはどうか。

答 特設窓口の設置は厳し
い状況にある。



なかむら あさと
中村 朝人

災害対策／就学援助

被災後には生活と産業の
再建を要とした復旧・復興
が急務であり、市長の考え
を質した。

また、就学援助の国基
準への引上げや上乘せの時
期、認定基準の引上げ、新
入学学用品費の入学前支給
の前倒しを求めた。



もりした さちこ
森下 佐知子

災害時の学校給食

問 今回の台風21号による
停電で弁当持参を通知され
たが、自宅も停電、断水で
弁当持参は困難となった。
今後の地震・風水害に備え、
避難所機能を併せ持つ給食
施設を検討されたい。

答 必要な機能の程度、地
域との連携などを踏まえ、
検討の必要があると考える。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

浸水対策

問 台風や7月豪雨等で、
ポンプ場が稼働している地
域でも能力を超えるかつて
ない浸水被害があった。ど
う対応するのか。

答 今回初めて重点整備箇
所と位置づけ、早期に改善
できるよう関係部局と連携
し進めていく。



まつざか みちこ
松坂 美知子

熱中症対策

問 熱中症のリスクが高い
高齢者への見守りを厚くし
てはどうか。「ひとやすみ
所」を増やしてはどうか。

答 子育て支援等の家庭訪
問の機会も利用し、高齢者
を含め家族全員に注意喚起
する。「ひとやすみ所」は民
間にも協力を求めていく。

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市
議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案2件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、大学誘致事業施設整備費補助金3億2000万円について。これは、市民図書館閉館後、跡地に専門職大学を誘致するに当たり、本年10月の設置認可申請に必要な協定を締結するため、施設整備に対する補助金について平成31年度から平成32年度まで債務負担行為を追加設定するものです。



台風21号で大きな被害があった沿岸部



本町小学校跡地を活用して平成31年4月開校予定の和歌山信愛大学

議案第20号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、歳入予算の補正14億2287万4千円について。これは、7月豪雨、台風第21号等により被災した施設の復旧等に伴うものです。

なお、審査過程において、まちなか3大学誘致の進捗について、平成30年7月豪雨及び台風第12号・第20号・第21号に伴う対応について、一般会計の中期財政見通しについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、児童館整備事業193万4千円について。これは、杭の瀬児童館の解体撤去及び駐車場整備工事のための設計に要するものです。

障害者グループホーム等設置促進事業1億9719万3千円について。これは、施設・事業所の創設や大規模修繕等の施設整備を行う社会福祉法人等に対する国庫補助金の内示に伴い、事業費の増額を行うものです。

住民基本台帳システム改修事業869万2千円について。これは、マイナンバーカード等への旧氏記載に対応するための住民基本台帳システム改修に要するものです。

議案第4号、平成30年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算における、一般管理事業196万6千円について。これは、後期高齢者医療制度の改正に伴うシステム改修に要するものです。

議案第20号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、

災害復旧費等について。これは、平成30年7月豪雨、台風20号、21号等により被災した各施設等の復旧に要するものなどです。

なお、審査過程において、和歌山市斎場の火葬炉停止事故について、生活支援体制整備事業の受託事業者決定について、第4次和歌山市地域福祉計画の策定について、第2期和歌山市子ども・子育て支援事業計画について、和歌山市の環境(平成29年度報告)について、一般廃棄物収集運搬業務委託の契約について、山口地区産業廃棄物最終処分場設置計画について、し尿汲取り手数料の減免報告について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



台風21号により収集された災害廃棄物



9月定例会から委員会のインターネット中継が始まりました!

QRコードから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、四季の郷公園整備事業3736万2千円は四季の郷公園リニューアルにおいて、レストラン・農産物直売所等の調査設計等を、また、債務負担行為の補正4億2274万7千円は期間を平成31年度として、レストラン・農産物直売所等の整備工事を行うものです。

コンベンション推進事業1118万円について。これは、和歌山市への各種学会・大会等の誘致を図るための補助金を増額するものです。

青少年国際交流センター管理運営事業2158万4千円は平成30年12月から平成31年3月までの期間中、また、債務負担行為の補正2億7727万8千円は平成31年度から平成34年度までの期間中、青少年国際交流センターの管理運営を指定管理者に委託するために要するものです。

小学校給食民間委託事業2億8008万1千円について。これは、小学校7校の学校給食調理等

の業務委託を行うものです。

議案第2号、平成30年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算中、施設整備事業12億7187万円について。これは、中央卸売市場の再整備を行うものです。



青少年国際交流センター

また、議案第20号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、施設災害復旧事業等について。これは、平成30年7月豪雨、台風20号、21号等により被災した各施設等の復旧を行うものです。

なお、審査過程において、つつじが丘テニスコートの指定管理期間について、四季の郷公園リニューアルについて、中央卸売市場整備及び南用地の進捗状況について、ブロック塀等の対応状況について、平成30年度附属機関の会議の開催について、新図書館の建設等の進捗状況について、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案14件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、まちづくり支援事業750万円について。これは、和歌山城周辺における施設整備等と歴史的景観の調和を図るため、修景整備ガイドラインを策定するものです。

駐車場整備事業5284万円について。これは、北駐車場整備に向け、旧和歌山行政評価事務所及び現行の北駐車場を解体撤去するものです。

民間建築物耐震改修促進事業3500万円について。これは、道路に面した民有のブロック塀の撤去を促進するため、補助制度の拡充を行うものです。

議案第5号、和歌山市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について。これは、休止中の和歌山市営本町地下駐車場の再開に向けた利用料金制度の導入及び和歌山市営中央駐車場の一時利用料金について、最初の1時間30分を無料とするため、所要の改正を行うものです。

議案第20号、平成30年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、

土木施設災害復旧事業等は、平成30年7月豪雨、台風20号、21号等により被災した各道路・河川等の復旧工事を行うものです。



和歌山市消防局隊出発式

なお、審査過程において、平成30年7月豪雨(西日本豪雨災害)に伴う緊急消防援助隊和歌山市消防局3次派遣隊、第47回全国消防救助技術大会の出場権獲得、台風21号に伴う給水への影響、(仮称)和歌山城前広場及び市道中橋線の進捗状況、都市計画公園の見直しについて、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

委員会調査活動報告

広報委員会

議会広報について、先進的な取組を実施している岡山市、船橋市、横浜市で調査を行いました。

主な内容は、SNSを活用した情報発信、市議会広報番組やDVD教材などの動画制作、小・中・高校生の議会見学会や意見交換会、議会広報紙やポスター制作、スマートフォン用アプリの活用などで、本市議会広報の新たな取組のきっかけとなりました。



岡山市での行政視察の様子

総務委員会

総務委員会では、八戸市、秋田市で調査を行いました。

八戸市では連携中枢都市圏に係る取組を調査。周辺7町村と連携し、上限運賃500円の広域バスの運行など圏域全体で人口維持・生活水準向上を図る事業を調査しました。秋田市では投票環境向上の取組を調査。本市でも8月の市長選挙で開始したイオンモールでの期日前投票所開設について調査しました。



八戸市での行政視察の様子

経済文教委員会

経済文教委員会では、人吉市、宮崎市で調査を行いました。

人吉市では「絶景の宝庫 和歌の浦」を有効活用すべく、日本遺産認定による地域活性化の取組をはじめとした観光振興の施策について調査を行いました。また、宮崎市では現在全国的にも注目されている6次産業化に対する市独自の取組と不登校児童生徒への人員体制と対応について調査を行いました。



人吉市での行政視察の様子

議員連盟

活動レポート

Vol.10

スポーツ振興和歌山市議会議員連盟第3回主催イベント「井上康生日本代表監督による柔道教室」を7月20日に開催しました。

本市の子供たちにトップアスリートから直接指導を受けられる機会を設け、夢の後押しやスポーツを通じての学びや楽しさを体験していただきました。約200名の児童・生徒の真夏の太陽のような熱い眼差しが印象的でした。



柔道教室の様子

広報委員会からのお知らせ



市議会として初めて、市立和歌山高等学校の生徒の皆さんと意見交換会を実施しました。

この意見交換会は、市議会が若者の意見を聞く場として、次代を担う高校生に政治や行政、選挙等に対する理解と関心を持ってもらうことを目的に開催しました。高校生ならではの目線でいただいた積極的な意見を、今後の議会活動の参考とさせていただきます。

和歌山市議会広報委員会

【委員長】井上 直樹 【副委員長】西風 章世
 【委員】山野 麻衣子 中村 元彦 浜田 真輔
 中谷 謙二 松坂 美知子 奥山 昭博
 山本 忠相 南畑 幸代

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL : 432-0022 (議会事務局)
 FAX : 424-9276
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

